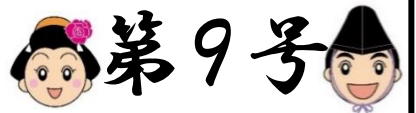


玉村町 文化財通信

2023年1月10日発行

(次号2月発行予定)



～らよっとそこまで古探訪～

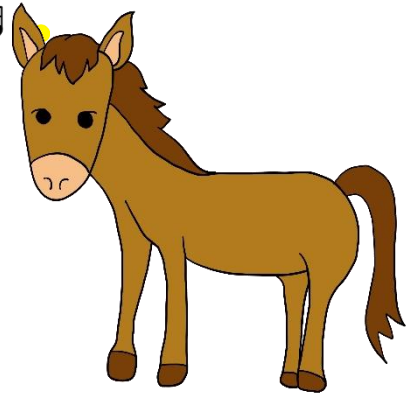
玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol.8

新年明けましておめでとうございます。今年も「歴史どうぶつ散歩」をよろしくお願ひします。初詣に行かれた方は、先月号のどうぶつ・「馬」に出会えたのではないかと思います。そして、願ひを書き奉納されたかたもいるのではないのでしょうか。

今月号は、箱石の設楽家に伝わる刃渡り二尺八寸の名刀です。この刀は「〇〇丸」と呼ばれ、邪心じゃしんの者がこの刀を見ると、ある生き物のように見えることからその名がつけられたと言われています。いい伝えによると、川中島合戦の古き昔、武田方の落武者に設楽左衛門大夫長孝という雄将がいました。彼は刀を持って上陽の上樋越におちのびました。その刀がなぜ設楽家に渡ったかは明らかではありません。

刀に銘はありませんが、歴戦を物語る刃こぼれが数か所あり、何とも言えない妖気が漂っています。評判を伝え聞いた前橋の酒井の殿様が所望して買い上げたこともありましたが、夜な夜な刀掛けの刀が鏗鳴りするので、気味が悪くなり、再びもとの持ち主に返したと言われています。また、これを質屋に入れると蔵の中で「設楽恋しや〇〇丸」と叫ぶので、すぐに引き取ってもらったと言われているなど、ほかにもいい伝えが残されています。

※現在刀は、玉村町歴史資料館が収蔵しています。



イラスト募集!

今後みなさんのスケッチをもとに、『玉村町歴史どうぶつ散歩マップ』を作成したいと考えています。ぜひご協力ください!

資料館へイラストをお持ちいただいた方には、プレゼントを差し上げます☆彡

第13回 昔の道具展

「すごいぜ! 昔の道具たち」開催中!



ガスや電気が普及していない時代に使われていた道具を展示しています。どんな道具でどんな生活をしていたのか? 昔の道具の工夫や便利さにも注目してみてください。「すご〜い!」と驚きの声をあげる人、「これ使ってた! 使ってた!」と懐かしの声をあげる人など、ぜひ展示を観てワクワクしてみませんか。

また、関連行事で「街頭紙芝居体験」も開催します。ぜひ、ご参加ください。

会期:1月6日(金)~4月2日(金)

休館日:毎週月・火・水曜日

1月8日(日)・2月11日(土・祝)・2月23日(木・祝)

開館時間:午前10時~午後4時

街頭紙芝居体験

・日時:1月14日(土)/2月4日(土)/3月18日(土)

10時30分~(30分間)

・会場:歴史資料館前フリースペース・参加費:無料

重田家住宅

~公開・活用にむけて◎~

冬至を過ぎてこれから段々昼が長くなりますが、一年で一番寒い時期が到来しました。そこで、下半期のみですが重田家でも給湯機の温水が使えるようになりました。催事等でご利用される皆様、どうぞご活用ください。

(重田家住宅管理担当者)

公開情報:平日の水・木・金曜日及び、催事開催日の10時~16時(通常16時迄に退去)

文化財・歴史資料館 情報

○玉村南中学校の職場体験報告○

令和4年12月6日(火)～8日(木)の3日間、玉村南中学校2年生の生徒4名が文化財係へ職場体験に訪れました。重田家住宅での清掃作業、民俗についての講演会への出席、^{たくほん}拓本作業等々、様々な業務にチャレンジしました。お疲れ様でした！

感想

2年 ^{ゆうま}櫻井悠真君

「職場の皆さんが、やさしく接してくれて、リラックスして仕事の手伝いできました。職場の雰囲気大切さや、コミュニケーションの取り方を学びました。この経験を将来の自分に活かしていきたいと思います。」

2年 ^{じょうすけ}原丞介君

「1日目には重田家住宅で車庫の中をきれいにしました。荷物はとても重かったけれどきれいになっていく車庫を見て頑張ったなと思いました。2日目は祭りについての講習を受け、3日目は拓本を取りました。段々うまくなっていいよかったです。今回の職場体験は忘れることのない良い思い出になりました。この経験をこれからの未来に活かしていきたいと思います。」

2年 清水夏姫さん

「最初はちゃんと仕事ができるか心配でしたが、時間がたっていくうちに覚えられるようになってきて安心しました。色々なことを学べて良かったと思いました。」

2年 大江美音さん

「1日目は心配が多かったけど、職場の人たちがみんな優しく、しっかり仕事できました。重田家での仕事は大変なことも多くありましたが、頑張れました。楽しさや大変さなど、色々学べたことを今後に生かしていけたらいいなと思います。」



左から、
櫻井君、
原君、
大江さん、
清水さん

国登録有形文化財「重田家住宅」

論語を読む

日時：令和5年2月18日(土) 午前9時～11時

場所：重田家住宅(玉村町小泉42番地)

内容：人生の悩みや迷いを読み解くヒントとして知られる「論語」にふれます。

講師：濱口 富士雄先生

(群馬県立女子大学名誉教授)

定員：先着15名

参加無料

申込方法：1月24日(火)より電話または文化財係窓口にて受付

※事前申し込みが必要です。

※駐車場は重田家住宅南側に約20台あります。

※暖かい服装でご参加ください。



古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「安政二年五月十二日地頭御用金上納督促状」を毎回少しずつ読んでいきます。第九回目はこの文章を読んでいきましょう。



書き下し文：割合定之時節より、
読み方：わりあいさだめのじせつより、
現代語訳：割合を定めるよい時機より、

(次号へ続く)

○玉村町誌別巻Ⅳ(三右衛門日記一)～別巻Ⅵ(三右衛門日記五) 歴史資料館にて好評発売中！

☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館 (電話) 0270-30-6180

〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島 325 番地 玉村町文化センター内

